

【様式2】

学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生支援緊急給付金に申請するにあたり、次の①～⑥（留学生は①～⑤及び⑦）の申請要件について、満たしている項目を確認しました。

あなたの世帯（原則父母及び本人）は非課税世帯ですか？ はい いいえ

要件チェック項目	チェック欄 (レ)	金額 (年額)
①家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2019年度の仕送り年額を記載すること（自宅外生は必ず金額を記載してください。例：年額0円であれば0万円、ただし、授業料等も仕送りに含まれます）		万円
②自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない		
③生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い。 ※1年生はアルバイトでの収入予定額、2年生以上は2019年度のアルバイト収入額を記載すること。（昨年アルバイトをしていた者、今年する予定だった者は必ず金額を記載してください）		万円
④家庭（両親）の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない		
⑤コロナ感染症の影響でアルバイト収入（雇用調整助成金による休業補償を含む。）が大幅に減少（前月比50%以上）している。（給与の減少が証明できるもの（減る前と減った後）給与明細また振り込みの場合は通帳の振り込みがわかるページのコピー・通帳の名義のわかるページのコピー、web明細等の場合は、それがわかるもの、手渡し等で証明ができない者は様式1の申し送り事項に3月の給与80,000円、4月の給与15,000円などできる限り具体的に記載してください）		
⑥既存制度について以下のいずれかを満たす		
1) 高等教育の修学支援新制度（以下「新制度」）の第I区分の受給者		
2) 新制度の第II又は第III区分の受給者であって、第一種奨学金の併給が可能な者にあつては、限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
3) 新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
4) 新制度の対象外であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
5) 要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度の利用を予定している者		
⑦留学生等（日本語学校の生徒を含む）については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的に困窮していることに加えて、以下の要件を満たすことが必要。 1) 学業成績が優秀な者であること。具体的には、前年度の成績評価係数が、2.30以上であること 2) 1か月の出席率が8割以上であること 3) 仕送りが平均月額90,000円以下であること（入学金・授業料等は含まない。） 4) 在日している扶養者の年収が500万円未満であること		

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があつた場合は返金することに同意します。

令和2年 月 日

学校名:大分大学

学部/研究科名

学籍番号: _____

署名: _____